

令和4年1月25日 知事臨時記者会見
～臨時特別協力要請にかかる主な発言内容～

(知事コメント)

最後に、一昨日に発出いたしました臨時特別協力要請に関しまして、改めて説明を補足させていただきます。

本日すでにメディアの皆さまにはお配りをしておりますように、前回の記者会見における発言内容をご覧いただければ、明らかであろうかと思いますが、私どもは、未接種者の「接種しない」という選択そのものを、今回の臨時協力要請において否定をしているものではありません。それは要請を読んでいただき、また先般の記録もご覧いただければ明らかであります。

接種しないよりも、していただきたいとお勧めすること自体に関しましては、県民の皆さまの命を守る使命を負っている行政として、これは必要な務めであろうと信ずる次第であります。

その上で、接種できない方、あるいは接種したくない方があったとしても、それはそれとして肯定をした上で、ご本人に対しては、まずは、自らの命を守るべき行動を、そして周囲の方々に対しましては、そういう方々に対する配慮をしてくださいということが要請の趣旨であります。

本県におきましては、接種あるいは未接種の如何を問わず、すべての方がエッセンシャルであるという認識でありますので、それぞれの職場において事業者の皆さまの配慮を求めるものであります。

ワクチンを打てない方、打たない方を事業者あるいは学校関係者などのお力添えをいただきながら、皆で力を合わせて、感染あるいは感染した上での重症化のリスクから、その方々を守っていこうという呼びかけでありました。

説明に対しまして、舌足らずであったことをこの場をお借りいたしましてお詫びしたいと思っております。

なお、本県におきましては、新型コロナを要因とした如何なる差別に対しましても、これは断固として反対し、否定し、必要があれば適切に対処する

ことは、いち早く、また繰り返し2年以上前から一貫して強調してきたところであります。

今後に関しましても、県民に対する不当な差別の事例が発生した場合には、人権侵害の問題として、県として毅然とした断固たる対応を取って参りたいと考える所存であります。

大変感染者数が増加しているところではありますけれども、何とか「必要な方に必要な医療を届ける」ことをしっかり堅持するべく、県庁挙げて全力で取り組んで参りたいと思います。

(質疑応答)

記 者

臨時特別協力要請の関係で、ご意見がかなり県の方にも来ているという状況を伺っていますけれども、まずこういったところの意図をしっかりと説明を尽くす必要があると思っていて、報道の仕方も大変重要だなというふうに思っているところですが、改めて、こういうご意見がかなり殺到しているという理由は、どういうふうにお考えですか。

知 事

私どもが申し上げているのは、ワクチンを打つ、打たないという問題ではないのだと。ここで私どもが言っていることは、ワクチンを打たないことがけしからんことだ、などということは一言も言っていないわけです。そういう方々がいることを前提に、その方々に対してぜひ最大限の注意をしてくださいと。

要は、この感染防止対策の中で、繰り返し繰り返し県民の皆さまに対しましては、基本的な感染防止対策を徹底してください、こういうことを協力要請として出しているわけで、ご案内のとおり、手洗い、3密の回避、マスク。それと心は同じで、ご自身を守るために最大限の注意をしてくださいと。

特にワクチンを打たれていない方、先ほど藤井総長からもお話がありましたように、明らかに感染する率が異なっている。よく世間的には、ワクチンを2回打っても感染するじゃないか、だからワクチンを打つのは意味がない、こういうような議論、感染防止効果がないみたいな議論は、ちょっと論理の飛躍があるわけですし、やはりワクチンを2回打たれた方も感染をしますが、ワクチンを2回打たれていない方の感染するリスクというのは、2回打たれた方の倍

なのだと。より危険なのだと。だから気をつけてくださいと、こういうことをまず、私たちはお願いしています。

併せまして、その周りの方々に、それは事業所であり、あるいは学校であり、こういう方々にも、ぜひワクチンを打たれていない方をこの局面においてしっかり守るべく配慮しましょうと。ワクチンを打たれていない方が、お仕事の中で不特定多数の人と接するような、例えばそういう役職だったというような場合は、ご本人は大変不安な状況だろうと思いますし、そういう不安がもしご本人から話があれば、ぜひそれを酌んであげてくださいと。かつ、それに伴ってデメリットを講じるようなことはやめてくださいと。

これが、私どもが言っている臨時特別協力要請の中身で、この点に関して、私どもの伝え方がちょっと足りなかったのかなと大いに反省をしているところでありますし、こういう機会をまたいただいて、メディアの皆さんとともに、しっかりとこのメッセージをお伝えできればと思います。

我々は、このコロナ全般に対して、何ら人権侵害というものは断固として許容しないという立場は、繰り返し申し上げているところであります。ワクチンを打つのはもちろん望ましい、ご本人を守るために望ましいわけではありますが、今回の臨時特別協力要請は、決して何か差別をすとか、不利益な取り扱いをしてくださいなどという話は全くないわけであります。まず、ご自身で自身を守ることに最大限注意してください。そして、周りの方も、ワクチンを打たれていない方を守るべく、十分な配慮をしてください、これが趣旨でありまして、しっかりと今後、この趣旨は伝えて参りたいと思います。